

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 8月 20日

事業所名 放課後等デイサービスぐれいす亙理山元

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9			体を動かす、バーテーションで分けて静かに学習する、リラックスするスペース等分けて活動している。
	2	職員の配置数は適切である	9			規程に基づき必要な職員数を配置している
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	9			設計から自社でしているため入り口のスロープやトイレの広さ手すりなどバリアフリーに関しての配慮は行っている
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9			利用児童のモニタリングや支援会議にて職員同士で意見交換を行っている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9			保護者とは口頭や連絡帳にて連絡を取り、都度改善に努めている。アンケートは年に1度行っている
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9			ホームページ及びInstagramにて公開している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		9		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9			ぐれいす岩沼と合同で様々な研修を提示し参加を促している
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9			支援会議にて面談内容、結果等を報告し支援計画書の内容を確認している
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9			利用児に対して個別での課題を用意している
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9			全職員で年間計画を立てて担当を決めている
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9			カリキュラムは固定にしているが曜日を交えることで利用児全員に様々な活動ができるようにしている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9			平日、休日、長期休暇と担当を決めていてイベントがある際は計画書を作成して支援に臨んでいる
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9			利用児の特性に合わせた計画をしている
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9			平日に関してはミーティングの時間を決めて行っている。長期休暇では計画書を作成して都度確認している
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9			支援記録を個別で記入して職員間での情報共有を行っている。イベントなどの振り返りはなるべく当日に行いできない場合は後日行っている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9			毎日個別での支援記録を記載し日々の様子を把握することで改善につなげている
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9			半年に一度のモニタリングを行い計画の見直しを行って更新している
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9			様々な活動を取り入れ、工夫してカリキュラムを組んでいる	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9			基本的には児発管が行くが状況に応じて別の職員が行くことがある
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9			学校及び保護者と連絡を取り合って情報共有をしている。インスタグラムの活用や送迎時に情報交換を行っている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	0		対象児童なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	9			未就学時にぐれいす岩沼を利用していた児童もおり職員間で情報共有を行っている。また相談支援とも情報共有を行っている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	0		対象児童なし
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9			研修を受けている
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		9		現在はない。今後検討していく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	9			亙理町及び山元町の子ども部会に参加している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9			面談、送迎、連絡帳や電話を通して保護者との情報を共有を行っている
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		9		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9			契約時に説明している
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9			連絡帳や電話での対応を行い希望があれば更新以外でも面談を行っている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	9			イベントとして保護者に来ていただき活動(カレー作り、芋煮、おやつ作り等)と一緒にするなど親子行事を行っている
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9			行っている
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9			インスタグラムで活動の様子を定期的に発信している
	35	個人情報に十分注意している	9			個人情報の取扱いについて規定を定めている
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9			連絡帳で日々情報共有を行っている。絵カードを用いた視覚支援等を行っている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	4		夏祭りの際におみこしを作り町内を一周する際に近隣の方に説明して見学及び応援をしていただいた。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9		各マニュアルを作成し周知している
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9		避難訓練を机上及び実践している
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9		定期的な研修を行い支援について振り返っている
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9		対象児童に対しては支援計画書に記載の上、保護者への説明を行っている
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9		契約の時点でアセスメントを取り配慮している
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9		報告を受けた場合は情報共有を行い改善策を検討している